

J. Jpn. Bot. 88: 194 (2013)

岡本達哉：高知県で初確認されたメリケントキンソウ

高知大学理学部

Tatsuya OKAMOTO: The First Record for *Soliva sessilis* (Asteraceae) from Kochi Prefecture, Shikoku, Japan

Faculty of Science, Kochi University, 2-5-1, Akebono-cho Kochi, 780-8520 JAPAN
E-mail: tokamoto@cc.kochi-u.ac.jp

Summary: *Soliva sessilis* Ruiz. & Pav. (Asteraceae) was found to be naturalized in Kochi City, Kochi Pref., Shikoku, Japan. This is the first report for the species from Kochi Pref. This species was growing on sunny river bed of the Kagami-gawa river, running through Kochi City.

メリケントキンソウ *Soliva sessilis* Ruiz. & Pav. は南米原産のキク科タカサゴトキンソウ属の一年草で、1930年に和歌山県で採集された標本に基づき、北村(1932)によって初めて国内から報告された。現在では本州(関東以西)から九州にかけて分布が拡大し、河川敷やゴルフ場など、日当たりの良い環境に生育している(清水 2003, 植村ほか 2010)。

本種の茎は地表を匍匐し、深裂した葉をつける。花期は5–6月頃で、頭花の直径は大きいもので10 mm程度である。瘦果はしばしばカブトガニに例えられる形状で、鋭い棘によって衣服等に付着する。また、この棘によって人間が負傷する場合もあるため、各地で駆除の対象となっている。

四国地方では、本種は徳島、香川、愛媛の3県で既に報告されている(国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所 2010)。高知県ではこれまで記録がなかったが(高知県, 高知県牧野記念財団 2009), 高知市の中心部を流れる鏡川の河川敷

で初めて採集された。この地点においては2008年以降継続して本種の生育を確認しており、既に定着しているものと考えられる。今後生育範囲がさらに拡大する可能性があるため、高知県においても早急な対策が望まれる。

***Soliva sessilis* Ruiz. & Pav., Syst. Veg. Fl. Peruv. Chil.: 113 (1798).**

証拠標本. 高知県高知市鷹匠町. Voucher specimen: JAPAN. Shikoku, Kochi Pref., Kochi, Takajō-machi, 25 June 2011, T. Okamoto s.n. (KOCH 110625001).

本稿をまとめるにあたり貴重なご助言をいただいた、高知県立牧野植物園の藤川和美研究員に感謝の意を表します。

引用文献

- 北村四郎 1932. 菊科植物雑録 I. 植物分類, 地理 1: 264–266.
高知県・高知県牧野記念財団 2009. 高知県植物誌. 高知県牧野記念財団, 高知.
国土交通省四国地方整備局香川河川国道事務所 2010. 土器川リバーキーパーズつうしん 67.
清水建美(編) 2003. 日本の帰化植物. 平凡社, 東京.
植村修二, 勝山輝男, 清水矩宏, 水田光雄, 森田弘彦, 廣田伸七, 池原直樹 2010. 日本帰化植物写真図鑑 第2巻. 全国農村教育協会, 東京.